

完了時検査リスト

申請者名 _____

現地検査

- 1. 止水栓及びメーターは、逆付け、偏りがなく、水平に取り付けられていること。
(止水栓は原則官民界から1.0m以内)
- 2. メーターは、検針・取替えに支障がなく、深さは約40cmとすること。
- 3. メーターボックス内は、発砲スチロール等で凍結防止の措置が施されていること。
- 4. 止水栓のスピンドルの位置はボックスの中心にあり、操作に支障がないこと。
- 5. ボックス等に傾きがなく、設置基準に適合すること。(止水栓・メーター等)
- 6. 給水管が所定の深さに埋設されていること。
(埋設深度:止水栓=80cm・宅内配管=60cm・識別マーカー/埋設シート=50cm)
- 7. 給水管の延長及び給水用具等の位置が、竣工図面と整合すること。
- 8. 配水管の水圧に影響を及ぼす恐れのあるポンプに直接連結されていないこと。
- 9. 給水管の口径、管路、構造等が適切であること。
- 10. 水の汚染・破壊・侵食・凍結等を防止するための適切な処置がされていること。
- 11. 逆流防止のための給水用具の設置がされていること。
- 12. クロスコネクションがされていないこと。
- 13. 当該給水装置は適切な接合が行われ、性能基準適合品が使用されていること。
- 14. 構造・材質基準に適合した適切な施工方法がとられていること。
- 15. 受水槽設置の際は、吐水口と越流面等との位置関係の確認がされていること。
- 16. 給水装置の使用開始前に通水し管内を洗浄した後、給水用具からそれぞれ放流して、メーター経由の確認及び給水用具の吐水量、動作状態などについて確認していること。
- 17. 新規取り出しで、サドルの取付・穿孔は町職員の立会いとし、耐圧試験をサドル設置後0.75MPa 2分間、サドル～止水栓は0.75MPa 2分間を実施していること。
- 18. 宅内耐圧試験は町職員の立会いとし、0.75MPa 2分間を実施していること。
- 19. 給水装置の施工及び使用材料が、下諏訪町給水装置設計施工基準に適合していること。

書類検査

書類

- 1. 提出書類はA判(A4又はA3)で作成されていること。
- 2. 案内図は、工事箇所が明記されいて、工事箇所周辺の道路及び主要な建物等が記入されていること。
- 3. メーター番号や日付等、必要事項の記入漏れがないこと。

平面図及び立面図

- 1. 北の方位を上にするを原則とし、図面に方位が記入されていること。
- 2. 平面図は、縮尺1/100～1/200の範囲で作成し、縮尺は図面ごとに記入されていること。
- 3. 給水装置の新設は赤色の実線、既設の給水装置は黒色の破線、給水装置以外は黒色の実線で記入されていること。
- 4. 公私有地、隣接敷地の境界線及び、道路種別等付近が記入されていること。
- 5. 建物の位置、構造がわかりやすく記入されていること。
- 6. 平面図と立面図が整合すること。
- 7. メーターの位置を移動した際は、施工前のメーター位置が黒色の破線等で、図面に記入されていること。
- 8. 既設の配管材料と新設各部の材料、口径及び延長が記入されていること。
- 9. 新規取り出しの場合、既設配給水管及びサドル分水栓の位置が記入されていること。
- 10. サドル分水栓及び私有管分岐箇所、甲型止水栓及びメーターの位置オフセット(3点から測定)が記入されていること。
- 11. 識別マーカー(f1マーカー)の 記入がされていること。
- 12. その他工事施工上必要とする事項(障害物の表示等)が記入されていること。
- 13. 水の汚染・破壊・浸食・逆流・凍結防止対策の施工方法が明記されていること。

工事写真

- 1. 工事黒板に「工事名・設備場所・申請者名・撮影内容(設備箇所・管種・口径・耐圧試験等)・指定工事事業者名・撮影日」の記入があり、下記(a)～(g)の写真が添付されていること。
 - (a) 配水管の穿孔及び共用管からの分岐(サドル分水栓・分岐～甲型止水栓)
 - (b) サドル分水栓及び支管分岐箇所・給水管の曲がり・甲型止水栓へのf1マーカーの設置及び埋設シート
 - (c) メーター周辺(甲型止水栓～逆ボ止水栓～フレキシブル継手)
 - (d) 各立ち上げ箇所(不凍栓等)及びチーズ等の分岐箇所
 - (e) 配水用ポリエチレン管へのサドル分水栓等の融着接合状況
 - (f) (a)～(d)の埋設深度(スタッフ)
 - (g) 耐圧試験

以上、当該工事について完了時検査を行いました。

常水圧	MPa
日時	

検査年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日
 主任技術者 _____ 印